

# Stand UP!

2015年11月12日

発行責任者 佐久間 晃史

NO. 16 編集責任者 情 宣 部

## 2015年末手当 最終局面に差し掛かる!!

本日、年末手当の回答指定日を迎え、職場から継続した常駐体制に結集し、抗議FAXや要請行動等、精力的に奮闘されている青年部員の皆さん!大変お疲れ様です。本部はこれまで労使協議を展開し、職場で働く青年部員の思いに立ち実情を訴え続けてきました。しかし、会社経営陣には響かず鉄道事業部門の黒字化に向けて年末手当についても計画通り「夏季手当並み」の姿勢を変えていません。

## 会社は俺達の声を受け(怒)

職場で働く青年部員は、中期経営計画「平成28年度鉄道事業部門の黒字化」により、少ない賃金の中でも更なる人件費削減が進められてきた。

この人件費削減は、期末手当の抑制、働き度の向上、新規採用の停止、諸手当の削減が進められ職場で働く組合員のみ押し付ける施策ばかりを行った。その施策により、将来を悲観し会社に失望した青年部員は退職を余儀なくされ、多くの仲間が会社を去った。この事で全国の職場では、要員不足に拍車が掛かりJR貨物の将来を揺るがす事態となっている。その様な中で、会社が受ける荷物に対してお客様の想いに立ち必死で対応し努力した。その成果が2015年度中間決算である。この苦勞に踏みにじろうとする会社経営陣を本部青年部は許さない!!

## 青年部員の皆さん!会社のふざけた態度に怒りの声をあげよう!!